

勝てば官軍 負ければ賊軍



官軍とは日本においては天皇・朝廷に味方する軍隊、かたや賊軍とは天皇や朝廷への反乱軍のこと。

幕末の薩長連合軍が朝廷から下された。「錦の御旗」(錦糸で織られた菊の御紋章入りの御旗)を掲げ会津若松藩の鶴ヶ城を攻略した戦は官軍の圧勝、徳川軍の会津若松藩は賊軍となった。

これをビジネス・政治・スポーツに当てはめてみよう、どの業界においても負けた時には賊軍の烙印を押される。政治家がどんな選挙戦を戦おうと、開票結果が全て。途中経過は誰も評価しない。

プロ野球では二軍選手が一軍昇格を目指して血のにじむような努力をする。しかし、その8割の選手が日の目を見ることはない。結果が出せる選手だけがスポットライトを浴びる。

これはビジネス界も一緒、いくら「努力しました」「頑張りました」と言い訳しようが結果が全てだ。「途中経過が大事なんだ」という無能な上司もいるが、そんな部隊に勝ち目は無い。勝てば官軍 負ければ賊軍だ。

情報提供： 特別情報誌

ユニークな水栓シリーズに「おでん鍋セット」など新商品を追加

カクダイ(大阪市西区)はこのほど、「Da Reyaアイキャッチ水栓」シリーズに新製品を追加した。

同シリーズは、「親子の会話」をコンセプトに開発され、子供の好奇心や創造性を刺激することを目的に、あえて「誰にでも発想できる既存の形」をモチーフにしている。これまでに、やかんの形をした水栓や胴体部が大きく膨らんだ水栓などが発売されており、主に幼稚園や事務所などで導入されているという。

今回新しく発売されたのは、土鍋型の器とおでん型の水栓を組み合わせた「おでん鍋セット」、横水栓の胴体部に筋肉がついた「俺！ムッキムキやで」、パプリカを半分に切ったようなデザインの手洗器「国産パプリカ」など、水栓・手洗器合わせて全7製品。社内コンテストで出されたイラストが原案となっており、子供がかかわる現場で使われることを想定しているという。



情報提供： カクダイ

まくだけで雑草・照り返しを抑制、シラス原料の防草土



施工例：施工前(左)



施工後(右)

高千穂シラス(宮崎県都城市)は、防草性にすぐれた外構用の土「雑草生(い)らず『赤シラス』」を発売した。庭、空き地、空き家、お墓などの草むしりや、砂利・防草シートを敷く手間を解消する。

主原料は火山噴出物である赤シラス、ボラ、シラス、固化材となる酸化マグネシウム。赤シラスは粒度がかなり細かく、粘土分(直径0.005mm以下の粒子)を約40%含むため、土自体が植物の根の伸長を阻害する働きをもつ。対して、多くの防草土に用いられる真砂土の粘土分は数%に留まるという。また、火山噴出物の

軽石であるボラを含むことですぐれた透水性を発揮。肥料成分に乏しいため雨水を地下に浸透させ、雑草の栄養源にならない。さらに、照り返しやぬかるみを抑える機能も期待できるとする。施工は、庭などにまいて、ならずだけ。100%自然素材由来のため、不要になったら土を耕せば自然にかえすことができる。

情報提供： 新建ハウジング